

## 平成26年度兵庫県計画に関する事後評価

### 3. 事業の実施状況

事業の区分	1. 地域医療構想の達成に向けた医療機関の施設又は設備の整備に関する事業	
事業名	【新 (R2)】 病床機能転換推進事業	【総事業費】 784 千円
事業の対象となる区域	全県	
事業の実施主体	医療機関	
事業の期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	<p>医療資源を有効に活用し、医療機能の分化・連携を推進するため、医療機関の病床機能転換に伴う施設・設備整備を支援していくとともに、病院の統合再編を進める必要がある。</p> <p>アウトカム指標：必要整備量に対しR2年度に整備する予定の病床数 (整備予定病床数) / (病床の必要量-30年度病床機能報告)</p> <p>高度急性期： 140床 / 711床 (5,901床-6,612床) 急性期： △1,200床 / △5,400床 (18,257床-23,657床) 回復期： 1,370床 / 8,975床 (16,532床-7,557床) 慢性期： △310床 / △1,847床 (11,765床-13,612床)</p>	
事業の内容 (当初計画)	<p>地域医療構想の実現に向け、将来過剰とされる病床から不足とされる病床機能への転換を促進するために必要な施設整備費又は設備整備費を支援する</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 県立柏原病院、柏原赤十字病院統合再編事業</li> <li>2 県立姫路循環器病センターと製鉄広畑病院の統合再編事業</li> <li>3 病床機能転換推進事業補助、再編統合等支援事業補助、病床規模適正化支援整備事業補助</li> </ol>	
アウトプット指標 (当初の目標値)	整備を行う機能毎の病床数：(高度急性期140床、回復期1,370床)	
アウトプット指標 (達成値)	整備を行った機能毎の病床数： R2病床機能報告が取りまとめ中のため観察できなかった。	
事業の有効性・効率性	<p>事業終了後1年以内のアウトカム指標：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・必要整備量に対する整備病床数→R2病床機能報告が取りまとめ中のため、観察できなかった。</li> </ul> <p>→高度急性期： 床 急性期： 床 回復期： 床 慢性期： 床</p> <p>〈参考〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県立姫路循環器病センターと製鉄広畑病院の統合再編事業 令和4年度中開院予定</li> </ul> <p>(1) 事業の有効性 R2病床機能報告が取りまとめ中のため、観察できなかった。</p> <p>(2) 事業の効率性 地域医療構想調整会議において医療機関ごとに事業実施の合意を得ており、真に必要な整備に限定して実施している。また、施設整備又は設備整備に当たっては、各医療機関において入札や見積合せを行ったり、高額な工事の場合は、県において工事検査を行ったりするなど、コストの削減を図った。</p>	
その他		

事業の区分	2 居宅等における医療の提供に関する事業	
事業名	【新(R2)】 在宅医療充実強化推進事業	【総事業費】 434 千円
事業の対象となる区域	全県	
事業の実施主体	兵庫県医師会	
事業の期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	在宅医療の重要性の高まりが見込まれるなか、県下の郡市区医師会が中心になって組織している地域在宅医療推進協議会を核に、地域の課題解決のために取り組む基盤の整備が必要である。 アウトカム指標：在宅療養支援病院・診療所数の向上 H30：954箇所 ⇒ R5：1,185箇所（保健医療計画） ：在宅看取り率の向上 H30：27.5% ⇒ R5：現状水準を維持） ※保健医療計画で定める目標指標 R5:27.0%	
事業の内容（当初計画）	① 兵庫県在宅医療推進協議会事業（全県事業） ・協議会（委員18名）及び関連委員会の開催 ・在宅医療の実施状況に関する調査の実施 ・在宅医療多職種連携フォーラムの開催 ・小児在宅医療推進にかかる委員会の開催と実践研修会の開催 ② 地域在宅医療推進協議会事業（地域事業） ・在宅医療充実強化事業 地域医療構想で掲げるように、今後、増加が見込まれる在宅医療需要に対応するために、各圏域における在宅医療に関する課題を解決する実効性のある取組みを支援する。（在宅医療の人材育成基盤を整備するための研修の実施、在宅医療の実施に係る拠点の整備など）	
アウトプット指標（当初の目標値）	①在宅医療推進協議会の開催数：42回（県、41郡市区医師会全てで実施） ②充実強化事業の実施数：41事業（各41郡市区医師会で実施）	
アウトプット指標（達成値）	①在宅医療推進協議会の開催数：94回 （県、24郡市区医師会で実施） ②充実強化事業の実施数：77事業 （各18郡市区医師会で実施）	
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標： 在宅看取り率の向上（H30：27.5% ⇒ R3:28.8%） ※保健医療計画で定める目標指標を既に達成していたことから、中間見直しにおいて、目標値を上方修正（R5:27.0%⇒29.4%） <b>（1）事業の有効性</b> 実習指導者講習会の開催や医療機関等に従事する看護職員への各種研修などにより、看護職員の資質向上が見られた。 <b>（2）事業の効率性</b> 各施設が本来取り組むべき研修・教育について、看護協会が集合研修として実施することで、人件費・会場費等を集約することが可能となり、経済的である。	
その他		

事業の区分	4 医療従事者の確保に関する事業	
事業名	【新 (H29)】 看護職員資質向上事業	【総事業費】 150,656 千円
事業の対象となる区域	全県	
事業の実施主体	医療機関	
事業の期間	平成 29 年 4 月 1 日～令和 4 年 3 月 31 日 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	<p>近年の少子高齢化の進展や疾病構造の変化による医療の高度化・専門化・在宅医療の推進に対応できる資質の高い看護職員の確保が必要。</p> <p>アウトカム指標：看護職員数の確保（常勤換算） (H28 : 57,691 人 ⇒R7 : 76,579 人)</p>	
事業の内容（当初計画）	<p>医療の高度化・専門化、医療体制の変化、国民の医療ニーズの多様化に対応するため、医療機関等に従事する看護職員への各種研修、専任教員養成研修会等の開催を行い、看護職員の資質向上を図る。</p> <p>①専任教員養成講習会 ②看護職員資質向上等推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・病院等看護管理者研修 医師との役割分担と協働を組織的に進めるための展開方法（システム論、教育技術、人材活用等）</li> <li>・認定看護師養成研修 特定の看護分野において熟練した看護技術を用い、高水準の看護を実践できる認定看護師を養成。</li> </ul>	
アウトプット指標（当初の目標値）	研修会の参加者数（延べ）：1,500 人	
アウトプット指標（達成値）	研修会の参加者数（延べ）：4,160 人	
事業の有効性・効率性	<p>事業終了後 1 年以内のアウトカム指標： 看護職員数の確保 (H30 : 68,521 人 ⇒R3 : 73,373 人)</p> <p><b>(1) 事業の有効性</b> 実習指導者講習会の開催や医療機関等に従事する看護職員への各種研修などにより、看護職員の資質向上が見られた。</p> <p><b>(2) 事業の効率性</b> 各施設が本来取り組むべき研修・教育について、看護協会が集合研修として実施することで、人件費・会場費等を集約することが可能となり、経済的である。</p>	
その他		

事業の区分	4. 医療従事者の確保に関する事業	
事業名	【新(R2)】 地域医療人材資質向上事業	【総事業費】 5,759千円
事業の対象となる区域	全県	
事業の実施主体	医療機関	
事業の期間	神戸大学、兵庫県医師会 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	<p>地域医療機関に従事する医師・メディカルスタッフへの地域医療の特性に応じた技能向上研修の実施及び離・退職した女性医師等を対象にした再就業支援の実施等により、地域医療提供機能の強化を図る必要がある</p> <p>アウトカム指標：医師確保対策重点推進圏域（※）の医師数 （H30:3,160人 ⇒ R4:3,324人（164人増）） （※）医師偏在指標上、医師多数区域に該当しない二次医療圏（北播磨・播磨姫路・但馬・丹波・淡路の5圏域）</p>	
事業の内容（当初計画）	地域医療機関に従事する医師・メディカルスタッフを対象に、神戸大学医学部附属地域医療活性化センターを活用しながら、診療現場において想定される症例や求められる技能に応じた各種研修を実施するとともに、女性医師等への再就業支援や医師の求人・求職のマッチングを行うドクターバンクの利用者拡大支援により、安全で安心な地域医療体制を構築する。	
アウトプット指標（当初の目標値）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医師を対象とした研修：16コース開催</li> <li>・メディカルスタッフを対象とした研修：15コース開催</li> <li>・臨床技能研修参加者数：延べ1600人</li> </ul>	
アウトプット指標（達成値）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医師を対象とした研修：22コース開催</li> <li>・メディカルスタッフを対象とした研修：28コース開催</li> <li>・臨床技能研修参加者数：延べ1,869人</li> </ul>	
事業の有効性・効率性	<p>事業終了後1年以内のアウトカム指標： 医師不足地域の医師数 R2：R3年12月判明予定（医師・歯科医師・薬剤師統計（隔年）） &lt;代替となる指標&gt; 医師不足地域の病院勤務医師数（1病床当たり）の増加 H30.4.1：0.121人→H31.4.1：0.130人→R2.4.1：0.133人 →R3.4.1：0.121人 【出典】地域医療動向調査（本県独自調査）</p> <p><b>（1）事業の有効性</b> 病院内保育所の運営費を助成することにより、病院の負担を軽減し、継続した運営に繋がり、子供を持つ医療従事者の離職防止、再就業を促進する。</p> <p><b>（2）事業の効率性</b> 従前の国庫補助事業における補助基準額等と同様のスキームにより制度設計しており、効率的に事業実施が図れている。</p>	
その他		